

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年5月27日
タイトル	初めて粃蒔きをしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年5月15日（金）福山市立駅家西小学校5年生60名が、駅家西学区内の町内連合会会長や町内会長の協力で水土里ネット福山の組合員の岡田国彦さん指導の下、粃蒔きを体験しました。

岡田さんが稲の苗を作るために水に浸けて発芽した粃を子どもたちは、一人一人手に取って見ながら説明を聞きました。

白い芽が出ていても水だけでは大きくなることや、これを土に埋めて約5日間で白い芽が2、3cm伸び、田植えまでには20cmくらいの長さになることなどを聞きました。



米の品種は「ヒノヒカリ」だよ！



手に取って粃を見ました！

体育館から渡り廊下に出て、6班に分かれて「平均的に、まんべんなく蒔きましょう！」と蒔き方のコツを岡田さんや町内会長さん達にアドバイスされながら、いよいよ粃蒔きが始まりました。

深さ3cmの箱へ2cmまで土を入れ、先程観察した粃をまんべんなく蒔きます。土が見えなくなるほど粃を蒔き、その上から1cmほど土を被せました。被せた後、子ども達が手で撫でていたところ、粃が表面に出てきてしまうので、町内会長さんから「気になっても撫でちゃいけない！」と言われていました。

初めての粃蒔きで、粃や土の感触を楽しんでいるようでした。



まんべんなく…。つつい撫でちゃう！



きれいな出来栄えに、にっこり笑顔！

蒔き終わった箱は、日当たりの良い校長室前へ運ばれました。水吐けをよくするため少し浮かせるように骨組みをし、その上に箱を置きました。そして、たっぷり水を撒いて布を被せました。

これから、約5日間このままにしておき、芽が2cmほど伸びたら被せていた布を取り、子ども達が1日3回水まきをして田植えに備えます。



たっぷり水を撒きます！



元気に芽がでますように！

今年は、駅家西小学校のすぐ北側にある岡田さんの約5アールのほ場で、町内会長さんをはじめ地域の方の協力をいただき、子ども達が今ではめずらしい籾蒔きから育苗、手で植える田植え、鎌を使った稲刈りといった昔ながらの農業体験をすることとなります。

水土里ネット福山では、引き続き子ども達の農業体験の様子を取材したいと思います。